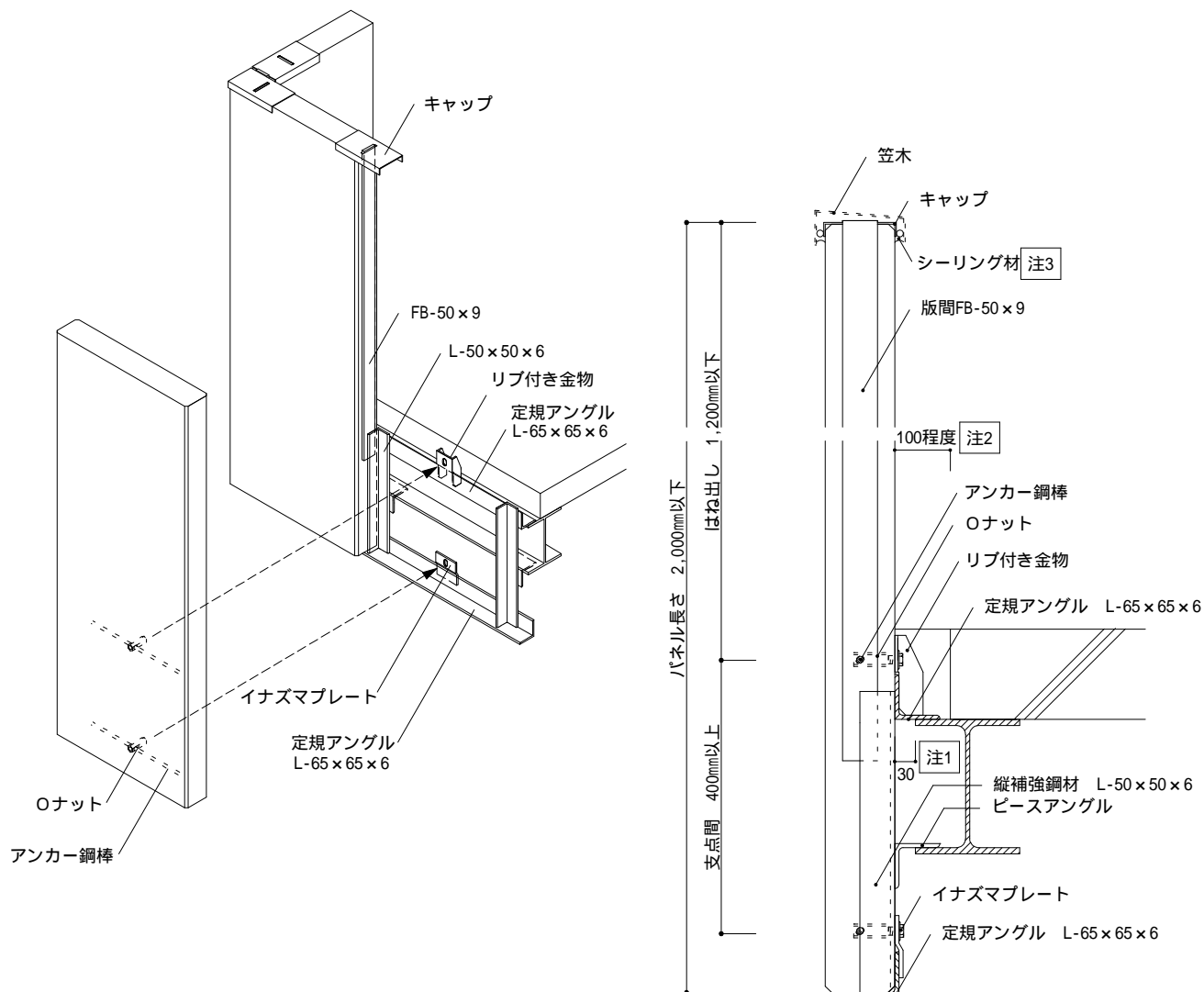


# てすりっこ

## てすりっこ概要



( ) てすりっこ：自立型乾式ALCベランダ壁構法です。

「てすりっこ」の許容荷重は、正の風圧力 $2,100\text{N}/\text{m}^2$ 以下、負の風圧力 $1,500\text{N}/\text{m}^2$ 以下です。

「てすりっこ」の最大はね出し長さは $1,200\text{mm}$ 以下、取付位置距離（支点間距離）は $400\text{mm}$ 以上です。

取付け金具はヘーベルテクニカルハンドブックをご参照ください。

てすりっこ特記および注（詳しくはヘーベルテクニカルハンドブックをご参照ください。）

注1：ベランダ部の梁と「てすりっこ」パネルとの間には、出入り調整のため、標準で $30\text{mm}$ 程度のクリアランスが必要。

注2：ベランダ床スラブにコンクリートを打設する場合、パネル内面 $100\text{mm}$ 程度で打止める。

注3：笠木とパネルとの間にシーリング材を充てんするなど、笠木内からの漏水を防止する措置を施す。

注4：ベランダの仕切り壁や物干し金具等の取り付けは、パネルに直接取り付けず、躯体から支持する。

注5：パネル外側、内側ともに、シーリングおよび防水仕上がりが必要。モルタル仕上げは避ける。

注6：てすり付き笠木を使用する場合は高さ $200\text{mm}$ 以下とし、取付けに関してはキャップの上部にフラットバー（FB）を溶接固定し、

そのフラットバー（FB）に てすり付き笠木を固定する。